

仕 様 書

- 1 品 名 多検体細胞破砕機
- 2 規 格・数量 規格
7の基本的仕様を満たすもの
(参考機器)
安井器械(株) マルチビーズショッカーMB2200
数量 1式
- 3 納 入 期 限 平成30年9月19日(水)
- 4 構 成
 - (1) 多検体細胞破砕機 本体
 - (2) サンプルホルダー SH96TH (96wellプレート×2枚架け)
 - (3) 2ml破砕チューブ×64架けアルミブロック／蓋付 ALB9-264FWC(32本架け2枚1組) 室温・凍結破砕用
- 5 使 用 目 的 多数の核酸抽出のための細胞破砕を行うため使用する。具体的には、イネのDNA検定及びRNA検定のため核酸の抽出を行う目的で使用する。
- 6 納 品 場 所 沖縄県石垣市真栄里川良原1091-1
国立研究開発法人国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点
形質転換実験棟2階 培養操作室
- 7 基本的仕様
 - ① 処理数 多数の植物体から核酸を抽出するため、1回の運転当たりの処理数が2mlチューブを50以上であること。
 - ② 使用条件 質の高い核酸を少量(新鮮重100mg程度)のサンプルから十分抽出するため、2mlチューブ内で常温及び液体窒素による凍結破砕が可能であること。
 - ③ 破砕方式 研究の継続性維持のため現在使用しているマルチビーズショッカーMB701の運転を再現可能であること。
 - ④ 破砕媒体 クロスコンタミネーションを回避するため、磁性があること。※標準装備、もしくは付属品で上記仕様を満たすこと。
- 8 そ の 他
 - (1) 納入時の諸経費(梱包・搬入・据付・試運転調整等)は、契約金額に含まれる。
 - (2) 納入にあたっては、事前に機器使用担当者と協議すること。
 - (3) 搬入・据付に際しては、必要に応じて養生等を行い物品及び建造物に損傷等の無いようにすること。また、損傷等をした場合は、担当者の指示に基づき、受注者の負担において速やかに補修等の措置を行うこと。
 - (4) 機器の据付完了後、機器使用担当者立会いのもと作動確認及び性能試験を行い、取扱方法について取扱説明書を用意し十分な説明を行うこと。
 - (5) 本仕様書の解釈に疑義が生じた場合は、担当者と協議を行うこと。
- 9 問い合わせ先 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター熱帯・島嶼研究拠点
 - (1) 契約に関すること 総務課会計係 一見
 - (2) 機器仕様に関すること 熱帯・島嶼研究拠点 石崎
- 10 その他 入札業者は、事前に応札仕様書を提出し担当者の承認を受けること。